

第1回用途地域等一斉見直し検討業務公募型プロポーザル選定委員会 議事録

1 日時 令和元年9月4日(水) 午後1時30分から午後3時まで

2 場所 吹田市役所高層棟4階 特別会議室

3 出席者

(1) 委員

都市計画部長、行政経営部総括参事、都市魅力部次長、
環境政策室長、開発審査室長、土木部次長

(2) 学識経験者

大阪大学大学院工学研究科教授
大阪大学名誉教授

(3) 事務局

都市計画室

4 議事内容

議題(1) プロポーザル選定委員会の概要について

ア 事務局から配付資料に基づき説明

イ 意見・質問等

なし

議題(2) 用途地域等一斉見直し検討業務の概要について

ア 事務局から配付資料に基づき説明

イ 意見・質問等

なし

議題(3) 実施要領案について

ア 事務局から配付資料に基づき説明

イ 意見・質問等

【委員】 審査評価項目第二次審査にて、高度地区の許可基準の配点が40と高い。業務全体や指定基準に対する配点のウエートがより高くなるという考え方もあると思うが、点数配分をどのように考えたのか。

【事務局】 用途地域等の指定基準、高度地区の許可基準の項目について、特に事業者から有益・有効な提案をいただきたいと考え、点数配分をしている。

【委員】 どのような内容の提案を求めるのか。審査評価項目に留意して提案するようにと記載することでより内容が伝わりやすくなるのではないか。審査評価項目は公表するのか。

【学識経験者】 具体的な提案テーマにすると、提案を出しやすくなると思う。

【事務局】 審査評価項目は公表する。提案が出しやすいような表現内容を検討する。

【委員】 参加表明書等の提出書類のうち、第一次審査で必要な書類は提案書等の提出書類に移動してもよいのでは。参加表明時に必要な資料が少ない方が参加しやすくなるのではないか。

【事務局】 そのように修正する。

【委員】 事業者の選定に記載している「最高得点を得た者」の最高得点が合計点である旨がわかりにくい。

【事務局】 誤解を与えないような表現に修正する。

【委員】 第二次審査（プレゼンテーション、ヒアリング）への予定管理技術者の出席を求める理由はなにか。採点に影響はあるのか。

【事務局】 本業務に実際に従事する予定の者がプレゼンを行うことと、予定管理技術者のプレゼン出席を求める記載をしている。本業務に携わる予定がない、プレゼンのみに出席するという者を極力排除するために記載している。

【委員】 業務内容にある地元説明会とはどのようなものを想定しているか。ワークショップを行うのか。

【事務局】 ワークショップを行う予定はなく、行政案を提案する場として説明会を開催する予定である。

【委員】 審査評価項目第一次審査の「迅速性」の手持ち業務件数は契約後増加することもある。評価事項として適切か。

【事務局】 提案時点の件数で判断し、契約後の状況の変化はやむを得ないと考えている。

【委員長】 審査評価項目第二次審査「他社にはない～提案があるか。」について、応募事業者が1者の場合の評価方法を審査時まで事務局で精査いただきたい。

【事務局】 精査する。

【学識経験者】 先日の意見が反映された内容となっている。事業者選定の考えが、第一次審査、第二次審査の総計である旨が不明確にならないよう記載方法に留意いただきたい。本業務後も活用できるデータ整備という視点をもって審査いただきたい。また、既往の都市計画基礎調査や建築確認のデータ提供はしていただけたとの認識でよいか。

【事務局】 事業者と協議し、可能なものはデータ提供していく。

【学識経験者】 求める提案をもう少し明確にできればと思うが、先日の意見が反映された内容である。

【委員長】 事務局は、委員会の指摘を踏まえた修正を行い、各委員へ修正内容を説明の上、事業者選定を進めることでよいか。

【全委員】 異議なし。

以上